



平成 19 年 11 月 8 日

各 位

会 社 名 株式会社今仙電機製作所  
代 表 者 代表取締役社長 増谷 修  
(コード番号：7266 東証・名証第一部)  
問 い 合 せ 先 常務取締役 大澤 慶文  
T E L 0 5 6 8 - 6 7 - 1 2 1 1

## 通期業績予想の修正、剰余金の配当および配当予想の修正に関するお知らせ

### 1. 通期業績予想（連結・個別）の修正

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 8 月 8 日に公表しました平成 20 年 3 月期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）の通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### (1) 連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 85,100	百万円 5,200	百万円 5,400	百万円 3,350	円 銭 197 87
今回修正（B）	87,700	6,000	6,100	3,900	220 32
増減額（B - A）	2,600	800	700	550	22 45
増減率（%）	3.1%	15.4%	13.0%	16.4%	11.3%
（ご参考）前期実績 （平成19年3月期）	73,323	3,216	3,479	1,902	122 61

#### (2) 個別業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 65,100	百万円 3,000	百万円 3,600	百万円 2,100	円 銭 124 03
今回修正（B）	67,200	3,450	4,100	2,500	141 23
増減額（B - A）	2,100	450	500	400	17 20
増減率（%）	3.2%	15.0%	13.9%	19.0%	13.9%
（ご参考）前期実績 （平成19年3月期）	56,653	1,851	2,368	1,496	96 47

#### (3) 修正の理由

当中間期の業績が前回予想を上回る結果となったことに加え、下半期におきまして、個別において得意先メーカーの増産に伴う売上の増加が見込まれること、引き続きアジア地域での売上が好調に推移すると見込まれることなどから、連結・個別ともに前回予想を上回る見通しであります。

## 2. 剰余金の配当および配当予想の修正

当社は、平成19年11月8日開催の取締役会におきまして、平成19年9月30日を基準日とする剰余金の配当を下記のとおり決議するとともに、平成20年3月期の期末配当予想についても下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

### (1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成19年5月15日公表)	前期実績 (平成19年3月期中間期)
基準日	平成19年9月30日	同 左	平成18年9月30日
1株当たり配当金	9円00銭	8円00銭	7円00銭
配当金の総額	159百万円	-	110百万円
効力発生日	平成19年12月10日	-	平成18年12月11日
配当原資	利益剰余金	-	利益剰余金

### (2) 配当予想の修正

基準日	1株当たり配当金		
	中間期末	期 末	年 間
前回予想(平成19年5月15日公表)	8円00銭	8円00銭	16円00銭
今回修正予想額	-	9円00銭	18円00銭
当期実績	9円00銭	-	-
前期実績(平成19年3月期)	7円00銭	7円00銭	14円00銭

### (3) 修正の理由

当社では、株主の皆様への利益還元と将来の事業展開に備えて企業体質強化のバランスを考慮しつつ、安定的な配当を業績に応じて継続的に行うことを配当政策の基本方針としております。

こうした基本方針に基づき、本日公表の当中間期の業績および通期業績予想を踏まえて、株主の皆様に対する利益還元を図るため、中間期末配当金および期末配当金につき、当初予想に対しそれぞれ1株当たり1円を増額し、前期比2円の増配となる9円(年間配当金は前期比4円増配の18円)とさせていただきます。

以 上

#### [業績予想に関するご注意]

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。